

第20回 万葉新能

Kinokuniyoshi Mura
Kunemitsu Katayama
Kinjiro Enji
Masahiko Kiyama
Masaki Morita
Yasuko Nomura

October 7 Sunday, 2018

Wakayama Katsunomi park outdoor stage

(Katsunomi Arena in case of rain)

Theatre opens at 16:00

Performance starts at 16:20

Ticket price 3,000yen

Ticket price on the day 3,500yen

Student Ticket price 1,000yen

Student Ticket price on the day 1,500yen

Organizer: NPO Wakayama Manyo Talkg'noh

Enquiries: Telephone 090-1967-3084



万葉新能

和歌の浦

親世流能

「紅葉狩」鬼揃

もみじがり

片山九郎右衛門

江崎欽次朗

他

和泉流狂言

「蝸牛」

かぎゅう

野村萬斎

野村裕基

他



2018年10月7日(日) ■ 開場16:00 ■ 開演16:20

片男波公園野外ステージ(雨天の場合「健康館アリーナ」)

参加協力券/前売券(一般) 3,000円(当日券3,500円)

学生(小・中・高・大学生) 1,000円(当日券1,500円)

※雨天の場合は、立ち見になる場合があります。

主催/NPO法人「和歌の浦万葉新能の会」

お問い合わせ/TEL.090-1967-3084

ホームページ <http://manyou-talkg'noh.com>

万葉新能 検索



和歌の浦 万葉新狂

第一部 (四時二〇分)
能楽ワークショップの発表

第二部 (五時)

能 紅葉狩 鬼揃 (観世流)



狂言 蝸牛 (和泉流)

太郎冠者
山主
後見 伏

上臈・鬼女
侍女
侍女
侍女
平維茂
太刀持
勢子
供の女
末社の神
小笛
大鼓
太鼓
後見

小林慶三
前川光範

片山九郎右衛門
橋本光史
橋本忠樹
梅田嘉宏
江崎欽次朗
大坪賢明
和田英基
野村太郎
深田博治
左鴻泰弘
林吉兵衛
石井保彦
前川光範
小林慶三
味方慶玄
分林道治
青木道喜
古橋正道
片山伸吾
田茂井廣道
深野貴彦
大江広祐
野村萬齋
内藤萬連
野村裕基
深田博治

終了予定(七時)



片山九郎右衛門 (かたやまくろうえもん)

観世流能楽師シテ方、昭和39年片山幽雪(九世片山九郎右衛門)人間国宝の長男として京都に生まれる。祖母は京舞井上流四世兼元井上八千代(人間国宝)、姉は五世兼元井上八千代(人間国宝)。父及び八世観世鏡之丞(人間国宝)に師事。平成23年1月に十世片山九郎右衛門を襲名。片山定期能楽会を主宰、全国各地で多数の公演に出演する他、ヨーロッパでの海外公演にも積極的に参加。また、学校公演及び学校における能楽教室の開催、「能」の絵本」の制作、能舞台のCG化など、若年層のための能楽の普及活動も手掛ける。

重要無形文化財(総合指定)保持者、京都府文化賞奨励賞、京都市芸術新人賞、文化庁芸術祭新人賞、日本伝統文化振興財団賞、京都府文化賞功労賞、芸術選奨文部科学大臣新人賞、観世寿夫記念法政大学能楽賞を授賞。公益社団法人京都観世世会会長、公益財団法人片山家能楽・京舞保存財団理事長。

あらすじ

能「紅葉狩」

秋も半ば、信州戸隠の山中、四方を錦に染めた紅葉を愛でつつ美しい女性達が酒宴を催しています。そこへ、鹿狩りにやって来た平維茂の一行が通り過ぎようとする、彼女達と共に紅葉と酒を楽しまうと誘われてしまいます。むげに断るわけにも行かず、維茂は次第に深酒に酔いしれ、前後を忘れて寝てしまいます。

寝込んで夢心地の維茂の前に石清水八幡の末社神が現れ、彼女たちは鬼であり、早く目を覚ますようにと告げ、神剣を与えます。目を覚ました維茂は驚いかる鬼に立ち向かい、激しい攻防の末、ついに鬼を切り伏せ退治に成功します。

狂言「蝸牛」

山伏が早朝の出立のため、眠くなり、藪の中で休んでいます。そこに主人と太郎冠者が登場し、長命の祖父にますます長生きしてもらうためには蝸牛を食べさせるのが良いと聞いていた主人が太郎冠者に蝸牛を取つてくるように命じます。

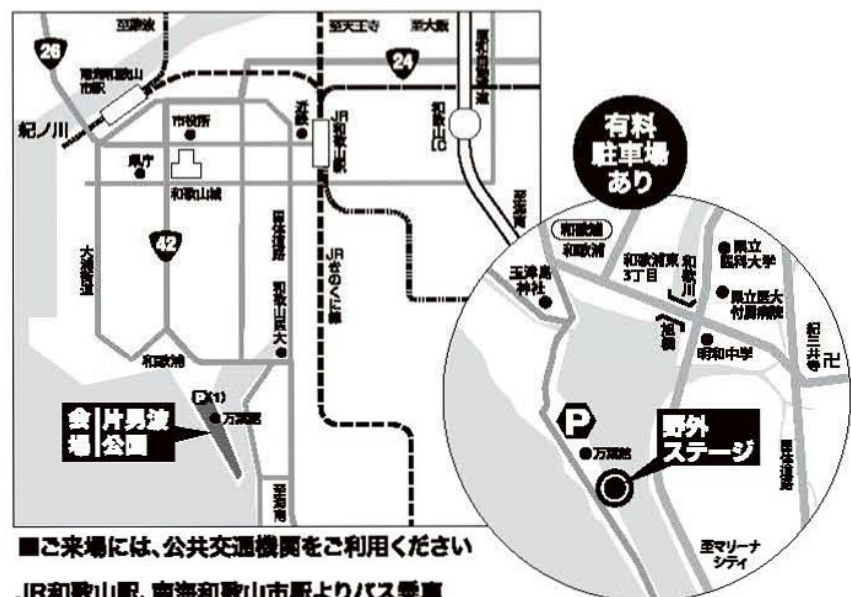
蝸牛を知らない太郎冠者は、藪にいて、「藪が黒く、腰に目をつけ、折々は角を出す」と教えられたので、山伏を蝸牛と信じてしまいます。蝸牛ではないかと尋ねられた山伏は笑いながら、太郎冠者をからかっけて楽しんでやろうと、「雨も風も吹かぬに出さかま打ち割る」と難させ、自分は「でんでん虫々」と諷い、浮かれて盛り上がったところにやって来た主人は……。

チケット販売所	
和歌山県民文化会館	073-436-1331
和歌山市民会館	073-432-1212
ミヤイ書店(市駅前 吉田ビル1階)	073-431-1331
宮井平安堂 貴志川店	0736-65-2381
宮脇書店和歌山店(広瀬通り)	073-422-2151
宮脇書店ロイネット和歌山店	073-402-1472
HITSイシイ小松原本店	073-422-6796
LURU MUSIC	073-457-1011
御坊市民文化会館	0738-23-4881
紀南文化会館	0739-25-3033
橋本市産業文化会館 アザレア	0736-42-5070
福岡書店(海南センタープラザ)	073-483-4608
TSUTAYA WAY ガーデンパーク和歌山店	073-480-5900
岩倉クリーニング(新堀橋西詰北100m)	073-422-8458
うえのやま呉服店	0737-82-3850
かわばた産婦人科	073-453-0600
観光旅館木村屋	073-444-0155

ローソンチケット <http://l-tike.com/>
電話予約 0570-084-005 Lコード 52180

チケットぴあ pia.jp/t
0570-02-9999 Pコード 485025

★チケットはホームページからもお申し込みいただけます。



■ご来場には、公共交通機関をご利用ください

JR和歌山駅、南海和歌山市駅よりバス乗車
和歌浦バス停下車徒歩10分

終演後会場よりJR和歌山駅・南海和歌山市駅行き
臨時バスあり

後援／一般財団法人和歌山県文化振興財団、和歌山県、和歌山県教育委員会、和歌山市教育委員会、海南市、海南市教育委員会、朝日新聞和歌山総局、毎日新聞和歌山支局、読売新聞和歌山支局、産経新聞和歌山支局、共同通信和歌山支局、ニュース和歌山、株式会社和歌山リビング新聞社、わかやま新報、テレビ和歌山、和歌山放送、NHK和歌山放送局、エフエム和歌山、和歌山市観光協会、和歌の浦観光協会、観劇会